

頭首工工事 検査指摘事項例

1 書類検査指摘事項 ※工事全般の記載事項を除く

(1) 施工体制関係

(2) 施工計画関係

- ☐ 河川仮締切りの施工方法を記載すること
- ☐ 河川仮締切りの施工管理は、県土木部施工管理基準を準用すること
- ☐ 汚濁防止ネットの規格を記載すること

(3) 施工管理（出来形・品質）関係

- ☐ 護床ブロック製作・据付は農水省と県土木基準を併用すること（監督員と要協議）
- ☐ 護床ブロック製作の出来形が規格値内であることを確認した後に設置すること
- ☐ 護床ブロック等の出来形管理を基準（施工管理計画）どおりに行うこと
- ☐ 仮締切りの形状を変更するのであれば監督員と協議して河川管理者の承諾を得ること

(4) 写真管理関係

- ☐ 護床ブロック連結金具のねじ山を潰した状況（潰れ具合）を撮ること

(5) 材料関係

- ☐ 鋼製型枠の材料検収、組立後の寸法確認を行うこと
- ☐ 特注製品は納入時に全箇所寸法検測を実施すること
- ☐ 護床ブロック等の資材保管状況を記録し適切に養生すること
- ☐ 連結金具（シャックル）及び連結鉄筋の材料検収では鉄筋径も計測すること

(6) 安全管理関係

- ☐ 施工ヤードから現地まで公道を走る場合は過積載防止対策を行うこと

(7) 産廃、再生資源関係

(8) その他全般

- ☐ 漁協との協議内容を打合せ簿で記録しておくこと

2 現地検査指摘事項

- ☐ 堰体側面の豆板、気泡、空隙を補修すること
- ☐ 護床ブロック連結部のねじ山を漏れなく潰すこと
- ☐ 護床ブロックの仮置き・積み上げはメーカー基準段数以内とすること
- ☐ ブロック連結部のコンクリート充填不足箇所を補修すること
- ☐ ブロックの欠損やクラック発生箇所を補修すること
- ☐ 間詰コンクリートの凹部や欠損部を補修すること
- ☐ 既設井堰と魚道等に生じた隙間へモルタル充填すること
- ☐ 吸出防止材の敷設は、設計図書どおり隙間なく施工すること
- ☐ 分割施工において既設の吸出防止材と新設の吸出防止材の重ね長を確保すること
- ☐ 埋戻しは巨石を除去して良質土を使用し施工すること
- ☐ カゴマット中詰材不足箇所へ補充を行うこと
- ☐ カゴ枠背面の吸出防止材を密着施工すること
- ☐ カゴ枠接続金具は適正方向で確実に締め付けること
- ☐ ネットフェンス基礎のアンカー不良を補修すること